

## 「市長と一緒にティータイム」対話概要

団体名 更生保護女性会  
実施日時 令和5年4月27日（木）午前11時～12時  
実施場所 市役所旧館3階大会議室  
出席者 更生保護女性会 27人  
市 3名  
テーマ 袖ヶ浦市に望むこと

**更女：**市内児童養護施設でボランティア活動をしています。会員の高齢化もあり、夏場の外作業が困難になってきました。

**市長：**子育て支援の観点から、児童養護施設での活動を行っていただき感謝します。健康を害することのないよう十分ご留意いただき、無理のない範囲で活動をしてください。



**更女：**コロナ禍以前は、皆さんで集まって手芸等を行う「ミニ集会」を開催していて、交流を深めることができました。

**市長：**コミュニケーションの場として大変いいことですので、今後も、皆さんで活動していただきたいと思います。

**更女：**市原刑務所の慰問も、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市および市原市で交替で、受刑者の誕生日会等に年数回慰問に行っていました。お花を持っていきゲームをしたりお話をしたり1時間ほど過ごし、受刑者に喜ばれています。



**市長：**受刑者の方々の支えになっていると思います。皆さんの活動により心に余裕が生まれると、自分自身を見直すこともできると思いますので、大変貴重な活動です。

**更女：**活動資金を集めるため、市原刑務所の受刑者からお花の苗を購入し、育てて、1本5円の利益で販売しています。また、更生保護女性会の活動資金にするため、そうめんを原価に近い金額で仕入れ、ひと箱につ

き500円上乗せして販売しています。

**市長：**1本あたり5円の利益で資金を得るのは大変なご労苦だと思いますが、活動資金の確保に向けた地道な活動に感謝します。

**更女：**「社会を明るくする運動」として、雑巾を各学校へ配布しており、大変喜ばれています。また、奈良輪放課後児童クラブからの依頼により、基本的な生活技術を体験すること、物を大切にすることについて学習することを目的として、雑巾縫いの講師をしています。



**市長：**子どもたちが実際に体験できる機会は、大変重要なことだと思います。多くの子もたちがそのような体験ができることを期待するとともに、一人の保護者として感謝します。

**更女：**コロナ禍以降、ガウランドの利用者が減少していると思います。再開していることをPRしてはどうでしょうか。また、女子更衣室の床など修繕が必要な場所があるように思います。



**市長：**ガウランドの利用者を増やすことについては、コロナ禍での利用制限があったことから、急激に増えるということは難しいと思いますが、少しずつ戻るといいと考えています。市内の公共施設は、建設から40年から50年程経過していることから、子ども達が過ごす学校の耐震化を最優先に進め、最後に市庁舎に取り掛かっているところです。施設の修繕については、危険箇所等、優先順位をつけながら段階的に進めていきます。

本日は、どうもありがとうございました。